

# チョーライ病院向け病院運営・ 管理能力向上支援プロジェクト

2018年7月

## 1. 各種研修会を続々と開催しています

### (1) 医療安全担当者研修会(第2期)

第2回目となる医療安全担当者養成研修会が、4月17日から6月5日まで、6回に分けて実施されました。

昨年の第1期の参加者は看護師長、技師長が中心でしたが、今回は医師や看護師、技師、医療設備担当者など多職種の41名が参加し、それぞれの専門的な立場から現状の課題が活発に議論されました。

研修参加者は、それぞれのアクションプランを立案し、研修の最後に発表しました。

昨年の研修とあわせて、これまで47科・部署から75名が本研修を修了しました。今後も継続し、患者安全を担う人材の育成を支援していきます。次回は10月の開催を予定しています。



医療安全担当者養成研修会参加者一同

### (2) 院内感染対策担当者(ICP)アクションプラン発表会

6月4日、昨年の10月から今年の1月にかけて実施した院内感染対策担当者(ICP)研修の総括として、各参加者によるアクションプランの発表および修了証書の授与が行われました。

同発表会には、チョーライ病院で院内感染対策を担当する看護師および技師22名が参加し、それぞれのアクションプランを一人ずつ発表しました。

発表した22名には、それぞれ修了証書が授与されました。修了者には、今後、ICP (Infection Control Practitioner) として活躍することが期待されています。

プロジェクト期間中に、チョーライ病院内に少なくとも40名のICPを配置することを目標としています。

ICP研修修了者と感染制御部Thu医師、  
小原チーフアドバイザー及び黒須専門家

### (3) VAP対策及びカフ圧計適正使用講習会

6月15日、看護師長クラスとICPの約40名を対象として、人工呼吸器関連肺炎(Ventilator-Associated Pneumonia: VAP)対策(ケアバンドルの内容と具体的な方法)およびカフ圧計の適正使用に関する講習会を開催しました。

この講習会は、現場の看護師からの要望に基づき、看護部と感染制御部合同でプロジェクト側に提案されたもので、VAP対策の講義を黒須専門家が、カフ圧計の適正使用に関する演習を森山専門家が、それぞれ担当し実施しました。

プロジェクトが開始されて1年半、カウンターパートとの関係は非常に良好で、現在のチョーライ病院がかかえる課題等について、積極的な提案がカウンターパート側から出されるようになっていきます。

今後も随時、臨機応変に、現場の必要にこたえるため、看護部、感染制御部、クオリティマネジメント部等と連携して、プロジェクト活動に取り組んでいきます。



カフ圧計の演習に取り組む参加者

## 2. 専門家チームがハノイに出張

6月20～22日、プロジェクト長期専門家4名でハノイに出張しました。

今回の出張は、5月に小原チーフアドバイザーが着任したことに伴い、ハノイにおける関係機関に新体制の報告をするとともに、情報交換を行うためのものです。

出張期間中、JICAベトナム事務所、日本国大使館、WHOベトナム事務所、バックマイ病院および他の保健医療分野のJICAプロジェクトを訪問しました。

大使館表敬においては、梅田邦夫大使に直接、プロジェクトの報告を行う機会をいただき、特に、大使からは、近いうちに機会を作って是非チョーライ病院を訪問したい旨お言葉をいただきました。



JICAベトナム事務所で小中所长、岩間次長ほか担当者と打合せ

WHOベトナム事務所訪問の際には、Kidong Park 所長より、特に当プロジェクトが実施している患者安全の取り組みや抗菌薬適正使用プログラム等について強い関心が示され、今後も継続して情報交換をしていくことを約束しました。

また、バックマイ病院においては、Ngo Quy Chau 副院長を訪問し、院内の視察を行いました。小原専門家は以前、JICAバックマイ病院プロジェクトのチーフアドバイザーをしていたことがあるため、視察の間、当時のカウンターパート多数と再会し、チョーライ病院着任の挨拶と当プロジェクトの紹介を行うことができました。

このほか、ハノイにある「新卒看護師のための臨床研修制度強化プロジェクト」および「国立衛生疫学研究所 (NIHE)プロジェクト」を訪問し、意見交換を行いました。



WHOベトナム事務所にて、Park所長ほかWHOスタッフと

## 3. 超音波画像診断検査 (Ultrasound Diagnosis) 学習ビデオが完成

保健省直轄病院であるチョーライ病院は、ベトナム南部25省・市(ホーチミン市、カントー市含む)の省レベル病院の医療水準向上に向けた指導・支援を実施することが、保健省により定められています。この取り組みを DOHA (Direction of Healthcare Activities) といいます。

プロジェクト活動の一つに、そのDOHAの一環として、チョーライ病院による指導・研修能力向上のための臨床マニュアルやテキスト類の作成・更新があります。

すでに昨年12月には、血液学 (Hematology) テキストの作成が終了していますが、今般、第2弾として、超音波画像診断検査 (Ultrasound Diagnosis) の学習用ビデオの作成が完了しました。

本ビデオの作成にあたっては、チョーライ病院超音波科のDr. Le Thanh Toanが自ら実演・解説を引き受けてくださいました。

本ビデオはDVDとして作成し、今後、チョーライ病院によるDOHA研修の際に、参加者に配布される予定です。また、超音波科により、すでに以下のウェブサイトへアップロードされています。

[https://www.youtube.com/channel/UCiGC5k\\_QIGhkEavqdC5EcAA?view\\_as=subscriber](https://www.youtube.com/channel/UCiGC5k_QIGhkEavqdC5EcAA?view_as=subscriber)



ビデオ撮影の様子

独立行政法人 国際協力機構 (JICA)

チョーライ病院向け病院運営・管理能力向上支援プロジェクト

事務所: 10F, Block D, Cho Ray Hospital, 201B Nguyen Chi Thanh, District 5, Ho Chi Minh City, Viet Nam

Tel: 028 3620 5032 (直通) E-mail: chorayjica@gmail.com

ホームページ: <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/044/>

